

KÖNIG

コーニックチェーン 取扱説明書

このたびはコーニックタイヤチェーンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
タイヤチェーンは消耗品です。取扱いにより寿命に大きく影響しますので、この取扱説明書をよく読んで、正しくご使用下さい。

お願い

- この取扱説明書に示されている**注意**・**警告**マークは取り付け、取扱いに関する安全上の注意事項ですので、必ず厳守して下さい。
- この取扱説明書に記載されていない取り付け及び使用方法は絶対に行わないで下さい。
- ご使用になる前に必ずテスト装着を行ってチェーンとタイヤが正しく装着できることを確認して下さい。

注意・警告事項

使用前の注意・警告事項

警告 タイヤチェーンを装着する際は、他の交通の妨げにならない平坦な広い場所か指定された場所で行ってください。

注意 タイヤチェーンにはサイズが数多くあります。タイヤが適合サイズであってもタイヤブランドや空気圧・磨耗量によって異なる場合があります。ご使用前にタイヤに装着して、適合しているかを確認してください。タイヤに合わないチェーンは絶対に使用しないでください。

注意 タイヤチェーンを『タイヤのすべり止め』以外には絶対に使用しないでください。また、乾燥路面での使用も避けてください。

注意 チェーンの装着は必ず駆動輪に行ってください。自動車の取扱説明書、タイヤチェーンの項目をご覧ください。

注意 タイヤチェーンを装着して走行するとホイールカバー・ホイールにキズがつく場合があります。必ずホイールカバーは外してご使用下さい。

走行中の注意・警告事項

警告 走行中、異常な音・振動・衝撃などを感じた時は自動車を安全な場所に止め、タイヤチェーンのゆるみ・切損の有無を確認してください。そのまま走行すると事故や車両破損の原因となります。

警告 タイヤチェーンを装着しての急加速・急発進・急ブレーキはタイヤチェーン破損の原因となりますので行わないでください。また50km/hを越えるスピードは出さないでください。

注意 タイヤチェーンの摩耗が50%を越えている時は、タイヤチェーンが切れる恐れがありますので使用しないでください。

【取り付け方法】

※各部の仕様はチェーンモデルやサイズによって写真とは異なる場合があります。



チェーンを広げてモツレがない事を確認します。ケーブルの黄色側を左から右へタイヤの裏側に通します(タイヤの左右両側とも、ケーブルの黄色側がタイヤに向かって右手側になるようにして下さい)。

注意 黄色のケーブルが左手側にきた状態で装着を行うと、タイヤに傷をつける原因となります。



ケーブルの両側を持って、タイヤの上側でケーブルジョイントをかけます。

注意 ケーブルジョイントが相手側金具に確実に挿入されているか確認して下さい。走行中チェーンが外れる原因となります。



赤色のサイドチェーンフックに灰色のサイドリンクをひっかけます。



ケーブルをタイヤの裏側側面までしっかりと移動(落とし込み)させます。

注意 ケーブルをタイヤの接地面に残さないように確かめてください。チェーンが外れたり折損の原因となります。



灰色のビーズワイヤーを赤色ストッパー裏側の切れこみから通します。



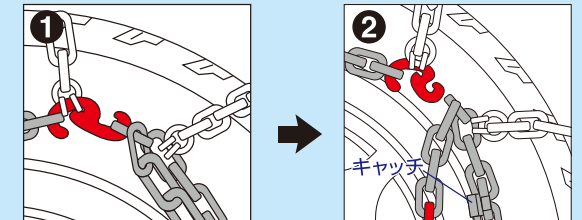
灰色のビーズワイヤーを引きしめて、マジックテンションの赤色フックをビーズワイヤー先端部のリングにかけます。

●装着したタイヤチェーンの確認
マジックテンション・ストッパー・ケーブルが路面に接地していないことを確認の上、チェーンのかがりがタイヤに均等になっていることを確認して下さい。

＜サイドリンクについて＞

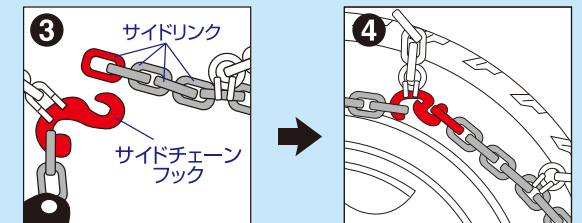
6の項目でマジックテンションのフックがビーズワイヤー先端部のリングまで届かない場合(チェーンが小さい状態)にはサイドリンクにてチェーンを多少大きい状態に調節することができます。

※サイズによりサイドリンクの数は異なります



通常の装着状態

灰色のキャッチからサイドリンクを外します。



サイドチェーンフックにサイドリンクを引っかけます。

この状態でチェーンの装着を行ってください。

サイドリンクは端側のリンクにつけるほど、チェーンが大きい(ゆるい)状態になります。



ゆっくりと300m程度走行後、一旦車を停車させ左右のタイヤチェーンの装着状態を確認します。ビーズワイヤーのつけね部分から赤色ストッパーまでのコマ数を確認して下さい。
この際ビーズワイヤーのコマ数が3コマ未満でチェーンにたるみが見られる場合は、チェーンがゆるい場合がありますので、お買い上げいただきました販売店にて確認・交換してください。

注意

チェーンがゆるい状態での走行は、チェーンが車両に干渉して内側のフェンダー等に傷をつけたり、チェーンの早期折損等の原因となりますので使用しないでください。

【補償】

製造過程で生じた不良に対し、補償致します。
誤った取り付け方法、装着時50km/h以上の走行による不良、ならびに乾燥路面での激しい磨耗を引き起こす極端な取り扱いによる不良は補償の対象外とします。明らかに製造上の欠陥が認められたときには、お買い求め後1年以内の新品使用時に限り交換させていただきます。

●製造元

KÖNIG

König S.p.A. 23867Suello (LC) Italy

●発売元

中発販売株式会社

本社:〒457-0066 名古屋市南区鳴尾2丁目114番地
TEL (052) 614-3662 FAX (052) 614-1003

【取り外し方法】



赤色ストップパーをタイヤ接地面近くにして車を停止します。
ストップパーをなるべく下側にくるようにすると③のケーブルジョイントが外しやすくなります。



マジックテンションのフックとビーズワイヤーのリングを外し、赤色ストップパーのレバーを押しながら、ストップパーの切れこみから灰色のビーズワイヤーを外します。



タイヤ裏側にあるケーブルジョイントを、なるべくタイヤの手前側までずらしながら引き出します。



ケーブルジョイントとサイドチェーンフックを外して、地面に置きます。



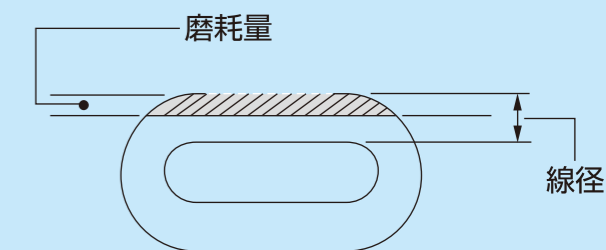
ビーズワイヤー・マジックテンション・ストップパー等をタイヤで踏まないようにして車を移動し、チェーンを取り除きます。

【保管方法】

タイヤチェーン使用後はチェーンに付着した凍結防止剤等をよく洗い流し、防錆油などをうすく塗って直射日光の当たらない所で乾燥させてケースに収納してください。ケーブルを二重に巻き、ジョイントをつなげるとスムーズにケースに収納できます。



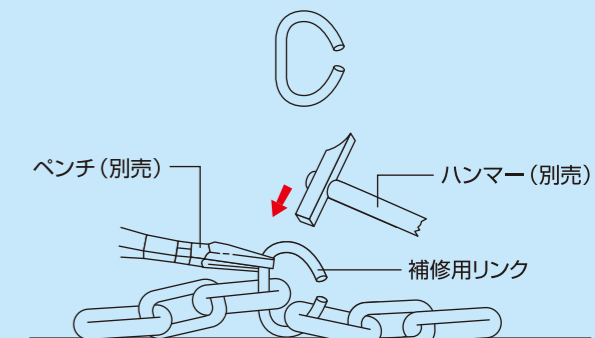
【使用限度】



使用後にタイヤチェーンの破損・摩耗の程度を確認してください。タイヤチェーンの破損や割れがあったり、チェーンの線径の摩耗が50%を超えている時はタイヤチェーンが切れる恐れがありますので使用しないでください。

【応急処置】

タイヤチェーンが切れた場合は、車体への損傷を防ぐため、付属品の補修用リンクでベンチやハンマー等(別売)を使用して応急処置して下さい。



- ①チェーンの折損部分に補修用リンクを開口部から通します。
- ②補修用リンクをベンチではさみ固定し、ハンマーなどを使ってリンクの開口部を閉じてください。
- ③補修用リンクがしっかり接合されていることを確認し、安全な場所まで走行してください。

⚠️注意

補修用リンクによる修理は一時的なものです。雪道脱出後は修理したタイヤチェーンを使用せず、新しいチェーンをお買い求め下さい。